

BEST AVAILABLE COPY
PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 02-163283

(43)Date of publication of application : 22.06.1990

(51)Int.Cl.

B66B 13/28

(21)Application number : 63-316400

(71)Applicant : HITACHI LTD

HITACHI ELEVATOR ENG KK

(22)Date of filing : 16.12.1988

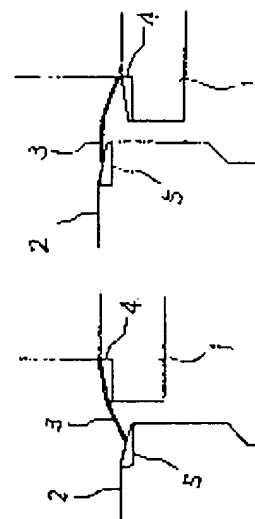
(72)Inventor : KANEKO SADAO

(54) ELEVATOR CAGE SILL AND HALL SILL

(57)Abstract:

PURPOSE: To negate difference in level between a cage sill and a hall sill so as not to create an obstruction in the passage by forming a structure such as to have an inclination in the lower position toward the direction of a space between the cage sill and the hall sill at the hall arriving time of the cage.

CONSTITUTION: A footboard 3 for getting on and off is formed such as to be upwardly protruding at the center part in the width direction and provided at the lower edge part of an entrance and exit of a cage 1 in such a way as to cover a space between a slanted cage sill 4 provided at the cage 1 and a slanted hall sill 5 provided at a hall 2. As a result, when the cage 1 is positioned higher than the hall floor 2, the footboard 3 for getting on and off is adhered to the hall sill 5 of the hall floor 2 in the form of line contact, or when the cage 1 is positioned lower than the hall floor 2, the footboard 3 is also adhered to the hall sill 5 in the form of line contact. Accordingly, neither step nor space is created between the footboard 3 for getting on and off and the hall sill 5 of the hall floor 2, nor is created an obstruction in the passage of passengers and wheelchairs.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application]

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平2-163283

⑬ Int. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成2年(1990)6月22日

B 66 B 13/28

B 6758-3F

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 エレベータの乗りかご敷居及び乗り場敷居

⑯ 特 願 昭63-316400

⑰ 出 願 昭63(1988)12月16日

⑱ 発 明 者 金 子 貞 夫 茨城県勝田市市毛1070番地 日立エレベータエンジニアリング株式会社内

⑲ 出 願 人 株式会社日立製作所 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地

⑲ 出 願 人 日立エレベータエンジニアリング株式会社 茨城県勝田市市毛1070番地

⑳ 代 理 人 弁理士 小川 勝男 外2名

明 細 書

1. 発明の名称

エレベータの乗りかご敷居及び乗り場敷居

2. 特許請求の範囲

1. 乗りかごの出入口下辺部に乗降用歩み板を設けたエレベータにおいて、

前記乗りかごの着床時の乗りかご敷居と乗り場敷居の間の隙間方向に向かつて低い位置に傾斜を付けたことを特徴とするエレベータの乗りかご敷居及び乗り場敷居。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は、乗りかご出入口下辺部に乗降用歩み板をもつエレベータに係り、特に、乗りかご着床時における段差防止のための乗り場敷居に関する。

〔従来の技術〕

従来の乗りかご着床時における乗りかご敷居と乗り場敷居との段差の防止は、実開昭50-13367号公報に記載のように、乗かごドアとリンク機構によつて連結された乗降用歩み板を、乗りかご出

入口の下辺部に設け、乗りかごドアが開いた時に、リンク機構を介し、乗降用歩み板を乗り場床に突き出す形で動かし、乗りかご床面と乗り場床面の段差を防ぐ方式であつた。この方式では、乗りかご着床時の乗りかご敷居と乗り場敷居の段差が、ごくわずかな場合のみ有効であり、段差が大きい場合には弊害があつた。この現象を第4図、及び、第5図により説明する。例えば、乗かご1が乗り場床2より高い位置にあつた時には、乗降用歩み板3との間に隙間 g_1 が生じる。さらに、乗かご1が乗り場床2より低い位置にあつた時には、乗降用歩み板3との間に、隙間 g_2 が生じる。この隙間 g_1 、 g_2 は通行時の段差を形成することになる。4'は乗りかご敷居、5'は乗り場敷居である。

〔発明が解決しようとする課題〕

上記従来技術は、乗りかご着床時に乗りかご敷居と乗り場敷居とに大きな段差が生じた場合には、乗降用歩み板と乗り場床面との間に段差が出来たり、隙間が生じて、逆に、乗客や車いすの通行の

障害となっていた。

本発明の目的は、大きな段差が生じた場合でも、乗降用歩み板の乗り場床面に完全に接地させ、通行を容易にすることにある。

〔課題を解決するための手段〕

上記目的を達成するために、乗りかご敷居と乗り場敷居の形状を、乗かご着床時の両敷居間の隙間方向に向かって下側に低く傾斜を付けた形としたものである。

〔作用〕

傾斜を付けた両方の敷居は、それぞれ、乗りかご手前下辺部、及び、乗り場建屋床端部に設けられている。さらに、この両傾斜面には、乗かごと乗り場をまたぐように、その幅方向の中央部が上向きに凸となる形状の乗降用歩み板が乗かごの一部に取付けられている。この乗降用歩み板の上向きに凸となる形状の乗かご側の底面は、乗かご側の手前下辺部の斜面に沿う傾斜角をもち、乗り場側に位置する一方の端部は、乗り場側の斜面と線接触する形で密着する。このため、乗降用歩み板

と乗り場の建屋床との間には段差や隙間が生じることはなく、従来のように、乗客や車椅子の通行に際して障害になることはない。

〔実施例〕

以下、本発明の一実施例を第1図、第2図、及び、第3図により説明する。第1図は、本発明の斜視図であるが、この乗かごAには第4図で説明した乗降用歩み板Cに相当する乗降用歩み板3を備えている。そして、この乗降用歩み板3は、幅方向の中央部に上向きに凸となる形状をし、乗かご1の出入口下辺部に設けられ、さらに、乗りかご1に設けられた斜面をもつ乗りかご敷居4と乗り場床2に設けられた斜面をもつ乗り場敷居5との隙間を覆う様に備えられる。

乗降用歩み板3は、第2図の様に、乗りかご1が乗り場床2より高い位置にあつた時には乗り場床2に設けられた乗り場敷居5と線接触する形で密着する。また、第3図の様に、乗りかご1が乗り場床2より低い位置にあつた時にも、同様に乗り場敷居5と線接触する形で密着する。

本実施例によれば、乗降用歩み板3と乗り場床2に設けられた乗り場敷居5との間には段差や隙間が生じることはなく、乗客や車椅子の通行に際して障害になることはない。

〔発明の効果〕

本発明によれば、乗りかご着床時に、乗りかごに設けられた乗かご敷居と乗り場建屋床端部に設けられた乗り場敷居との有害な段差がなくなり通行の障害にならない。

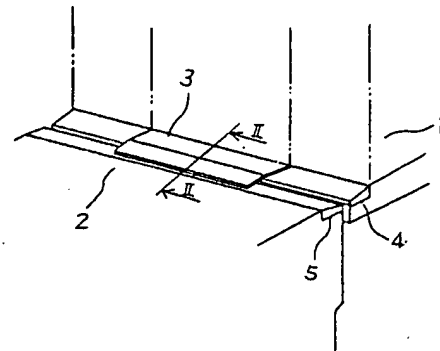
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例を示す要部の斜視図、第2図と第3図は第1図のII-II線に沿う断面図、第4図、第5図は従来のそれぞれ第2図と第3図に相当する部分の断面図である。

1…乗りかご、2…乗り場床、3…乗降用歩み板、4…乗りかご敷居、5…乗り場敷居、g1、g2…隙間。

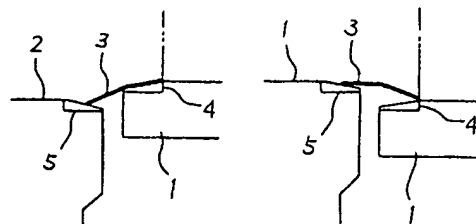
代理人 弁理士 小川勝男

第1図



第2図

第3図



第4図

第5図

